

ILOHA

ILOHA127 国家試験速報 復習問題解説

2018年2月27日

掛屋先生の講義に関して、復習問題を作りました。必ずしも講義中に説明していないものも含まれます。

なお、本問題は金子の責任で作成しております。

第112回医師国家試験

1. A4 腸管出血性大腸菌感染症と診断された場合に正しいのはどれか。
 - a 入院勧告の対象となる。
 - b 届け出は一週間以内に行う。
 - c 届出先は市町村長である。
 - d 医療費は全額公費負担となる。
 - e 児童の場合は出席停止となる。

解答

e

解説

EHECは三類。入院勧告は、一類と二類のみ（ただし、結核の場合排菌がなければ入院は必要ではない）。

一類～四類、麻疹と風疹は直ちに届け出る。五類全数は7日以内であるが、五類の中でも麻疹と風疹は「直ちに」である。風疹は2018年の1月に「直ちに」に変更となったばかり。また、五類全数に百日咳が加わった。

医師の届出は、感染症法（正確には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）において、第十二条に「最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出なければならない」と定められている。

医療費は、入院患者の医療として、第三十七条に、「入院の勧告又は入院の措置を実施した場合において、当該入院に係る患者又はその保護者から申請があったときは、当該患者が感染症指定医療機関において受ける次に掲げる医療に要する費用を負担」と定められている。

児童については、学校保健安全法という別の法律があり、感染症法と学校保健安全法で、若干の相違があるため、この際整理しておきたい。

児童の出席停止は、学校保健安全法の（出席停止）第十九条に、「校長は、感染症にかかっているか、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。」とある。

学校保健安全法施行規則第十八条に第一種から第三種の感染症が定められており、EHEC感染症は第三種である。

第三種感染症の出席停止期間は、学校保健安全法施行規則の第十九条の三に、「病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで」と定められている。

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）

<http://elaws.e>

gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/sg0500/viewContents?lawId=410AC000000114_20160401

- 学校保健法

<http://elaws.e>

gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/sg0500/viewContents?lawId=333AC000000056_20160401#F

*学校保健安全法は、2009年に学校保健法から改訂されたもの。

- 学校保健安全法施行規則

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002mcip-att/2r9852000002mdgz.pdf>

2. B1 標準予防策（standard precaution）について正しいのはどれか。



- a 患者を隔離する。
- b 医療者の手指衛生を徹底する。
- c 感染症と診断してから開始する。
- d 感染症の治療が済んだら終了する。
- e 特定の感染症への対策として実施する。

解答

b

解説

感染制御の基本的な問題である。最近、このような問題が増えている。

標準予防策は、感染症の有無に関係なく、全ての患者のケアに際して行う予防策である。

標準予防策では、患者の血液、体液、分泌物、排泄物、粘膜、傷のある皮膚を感染の可能性のある物質と見なして対応する。

具体的には、これらの物質に触れる際には手袋を着用する。また、飛沫を受ける可能性がある場合には、マスクの着用も必要となる。

3. B1 患者に用いた注射針の処理として正しいのはどれか。
- a リキャップして一般廃棄物として処理する。
 - b リキャップせず一般廃棄物として処理する。
 - c リキャップして感染性廃棄物として処理する。
 - d リキャップせず感染性廃棄物として処理する。
 - e リキャップせず煮沸して感染性廃棄物として処理する。

解答

d

解説

リキャップしないのは当然である。また、患者に用いており、感染性廃棄物として処理する。

4. C61 (改変) 結核の届出はいつまで行うか。

- a 直ちに
- b 7日以内
- c 14日以内
- d 21日以内
- e 28日以内

解答

a

解説

結核は二類感染症である。直ちに届け出る。第一問を参照。

5. C62 (改変) 結核の標準治療として使用しないのはどれか。

- a イソニアジド
- b リファンピシン
- c エタンブトール
- d ピラジナミド
- e レボフロキサシン

解答

e

解説

レボフロキサシンも結核に用いることがあるが、標準治療ではない。

標準治療は、HREZ (2HREZ/4HR) もしくは HRSZ (2HRSZ/4HR) である。

Hはイソニアジド、Rはリファンピシン、Eはエタンブトール、Sはストレプトマイシン、Zはピラジナミド。

6. D74 (改変) *Clostridium difficile* による偽膜性腸炎の診察時に行うべき対応はどれか。2つ選べ。

- a 手袋を着用する。
- b エプロンを着用する。
- c N95 マスクを着用する。
- d 陰圧個室隔離を指示する。
- e ベッドの間隔を 2m 以上空ける。

解答

a,b

解説

感染経路別予防策（接触予防策、飛沫予防策、空気予防策）のうち、接触予防策に何を
用いるかを問うている。

N95 と陰圧個室は、空気予防策に用いる。

7. B46（改変）診断のために血液培養の検
体を採取する際に適切なのはどれか。

- a 抗菌薬投与後に採取する。
- b 動脈からの採取が優先される。
- c 採取後は検体容器を冷蔵する。
- d 2セット採取する。
- e 手指消毒後、素手で採取する。

解答

d

解説

抗菌薬投与後に採取すると、陽性率が下がる可能性がある。通常は、静脈から採血する。採取後は直ちに適切な温度で培養を開始する。通常は $35 \pm 2^\circ\text{C}$ 。もちろん、手袋を着用して実施する。

2セット採取が基本である。

2セットとは、好気・嫌気で1セットと数え、それぞれ2つずつ採取すること。原則として、もう1セットは別の場所から採取する。

大阪市立大学大学院医学研究科 細菌学

<http://www.med.osaka-cu.ac.jp/bacteriology/index.shtml>

